

2021年3月30日～

衆院北海道2区補選、参院長野選挙区補選、参院広島選挙区再選挙

補選・再選挙で協力確認 野党4党

時事通信 2021年03月24日16時45分

立憲民主、共産、国民民主、社民の野党4党の幹事長らは24日の会談で、4月25日投開票の参院長野選挙区、衆院北海道2区の両補欠選挙と参院広島選挙区の再選挙について「それぞれの政党の立場を理解しつつ、できるだけ協力していく」ことを確認した。

しんぶん赤旗 2021年3月25日(木)

法案誤りに抗議 是正要求 補選・再選挙「できるだけ協力」 4野党書記局長・幹事長会談



(写真)野党書記

局長・幹事長会談。左から榛葉・福山・小池・福島の各氏

日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、国民民主党の榛葉賀津也幹事長、社民党の福島瑞穂党首は24日、国会内で会談し、(1)政府提出法案の相次ぐ誤りについて厳重に抗議し、是正を求める(2)参院予算委員会での野党側の参考人要求や資料要求に対する政府与党の不誠実な対応に抗議する(3)4月に行われる衆参の3補欠選挙・再選挙で、それぞれの政党の立場を理解しつつできるだけ協力していく—の3点を確認しました。

小池氏は会談後の記者会見で、政府提出法案の誤りについて、12省庁の19法案・1条約で誤りが見つかったことは「前代未聞の事態だ」と批判。厳しく抗議し、是正を求めると表明しました。

小池氏は三つの補欠選挙・再選挙について、「公開の場で政党間でこうした議論をするのは初めてだ」と指摘。「これらの選挙はこれからの国政にとって非常に重要な選挙になる。できるだけ協力していくという方向性で認識が一致できたことは非常によかった」と語りました。

しんぶん赤旗 2021年3月24日(水)

「一致する大義が大事」立民・安住氏、野党共闘発展の考え BS番組に小池書記局長と出演

立憲民主党の安住淳国対委員長は22日夜、日本共産党の小池晃書記局長と出演したBS—TBS番組「報道1930」で、野党共闘について「自民党に代わる政権をつくろうということでは一致している大義が大事だ」と述べ、小池氏とそろって

次期総選挙での政権交代に向けて野党共闘を発展させていく考えを示しました。

司会の松原耕二氏は参院長野選挙区補選の「政策協定」などをめぐり、日本共産党、立憲民主党、国民民主党の3党は「『原発ゼロ』をめくりずれている」「(共闘の)不協和音を乗り越えられるのか」と質問。安住氏はこうした報道について、「たいしたことはない。原発ゼロにしていこうということではまったくぶれていない。目の前にある原発が消しゴムで消すように消えるわけではない。リアリティーのある原発ゼロをどう実現するかだ」と反論しました。

小池氏も「心配ない。原発は、廃炉までに一定の時間がかかる。原発ゼロの方向で一致している」と述べました。

小池氏は「協力して政権交代を実現し、新しい政権をつくる」との合意ができれば、一本化を含めた選挙協力は一気に進む」と強調。安住氏は「(3党は)自民党に代わる政権をつくろうということでは一致している。その大義が大事だ。(野党共闘が)受け皿になって自民党と違う選択肢をつくろうというプロセスの中でもう一度、山を登り始めている」と応じました。

さらに安住氏は「いま枝野(幸男立民代表)さんに問われているのは、共産党、国民民主、無所属、連合のみなさん、こういう政党(と勢力)を全部まとめて、総大将として菅(義偉首相)さんにぶつかれるかどうかだ」と強調。「まとめる力を示せば、十分1対1の選挙に持ち込んで、有権者の皆さんが選択できるチャンスをつくれる。1選挙区ごとにみれば大接戦になる。穏健保守から共産党のみなさんまで、その総大将として、枝野さんがまとめるということだ」と述べました。

小池氏は「このまとまりこそ自民党は恐れている」と応じました。

しんぶん赤旗 2021年3月30日(火)

衆院北海道2区・参院長野補選 参院広島再選挙 大義の旗 で必ず勝利を 小池書記局長が会見

日本共産党の小池晃書記局長は29日の記者会見で、参院長野選挙区補選に加え、衆院北海道2区補選、参院広島選挙区再選挙で野党統一候補を擁立する協定が締結されたことへの受け止めを問われ、「今度の三つの選挙(4月25日投開票)のいずれでも、筋が通り大義の旗が立つたたかいいになった」と述べました。その上で、「三つとも必ず勝利して、菅自公政権に痛打を与え、市民と野党の共闘をさらに発展させ、総選挙で政権交代を実現するために全力を挙げていきたい」と表明しました。

小池氏は、衆院北海道2区補選には立憲民主党の松木けんこう前衆院議員を、参院広島再選挙では無所属新人の宮口はるこ氏を野党統一候補として擁立することになったとそれぞれ紹介。このうち衆院北海道2区で立候補を予定し活動してきた日本共産党の平岡大介氏が立候補の取り下げを表明したことについて、「この間大奮闘された平岡さんに心から敬意と感謝を申し上げたい」と述べました。

野党統一候補に松木氏 共産は候補取り下げ一衆院北海道補選

時事通信 2021年03月28日 18時10分



衆院北海道2区補欠選挙で立憲民主、共産、社民3党の統一候補となり、記念撮影に応じる松木謙公氏（右から3人目）＝28日午後、札幌市

立憲民主、共産、社民3党の地方組織などは28日、衆院北海道2区補欠選挙（4月25日投開票）で、立憲元職の松木謙公氏（62）を野党統一候補とすることで合意した。3党に市民団体を加えた4者と松木氏が札幌市で会合を開き、「政治とカネ」の問題の徹底究明などを盛り込んだ政策協定を結んだ。

補選は、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相の議員辞職に伴うもので、松木氏への一本化により、共産は擁立していた新人を取り下げる。自民党は候補擁立を見送った。

3野党、松木氏を統一候補で合意 衆議院、北海道2区補欠選挙

2021/3/28 18:25 (JST)3/28 18:39 (JST)updated 共同通信社



衆院北海道2区補選を巡る政策協定で合意し、

あいさつする3野党統一候補の松木謙公氏＝28日午後、札幌市北区

4月の衆院北海道2区補欠選挙を巡り立憲民主、共産、社民3党の道組織の代表は28日、札幌市内で会合を開き、立憲民主党元職の松木謙公氏（62）を野党統一候補とすることで合意した。共産党は元市議平岡大介氏（32）を擁立する準備を進めていたが取り下げた。

補選は、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農相（自民離党）の議員辞職に伴うもの。

補選には、いずれも新人の日本維新の会山崎泉氏（47）、NHK受信料を支払わない方法を教える党斉藤忠行氏（29）、元地元民放アナウンサー鶴羽佳子氏（52）、弁護士長友隆典氏（52）、政治団体代表小田々豊氏（65）が出馬を表明している。鶴羽佳子氏（52）、弁護士長友隆典氏（52）、政治団体代表小田々豊氏（65）が出馬を表明している。

北海道2区補選は野党共闘が決定 立憲・松木氏を候補に

朝日新聞デジタル斎藤徹 2021年3月28日 18時30分



政策協定合意後、道2区補選で

の勝利に向け氣勢を上げる野党と市民団体代表ら。右から3人目は統一候補に決まった立憲民主党の松木謙公氏＝2021年3月28日午後4時17分、札幌市北区、斎藤徹撮影



衆院北海道2区補選（4月13日告示、25日投開票）で「野党共闘」を模索してきた立憲民主、共産、社民の各党道組織と市民団体「戦争させない市民の風・北海道」は28日、2区補選に関する政策協定に調印し、立憲の松木謙公・前衆院議員を統一候補とすることを決めた。

告示まで2週間余りとなる中、政策を巡り距離があった立憲と共産が選挙での勝利を最優先の目標に据え、合意にこぎつけた。2区補選で自民は候補擁立を見送っており、選挙戦は野党統一候補と他の保守系候補の戦いを軸に展開される構図となった。

3党と市民団体の代表は28日、「政治とカネ」の問題の徹底究明▽新型コロナから生活を守る緊急対策の実施と格差是正▽憲法を守りジェンダー平等など多様性が尊重される社会の構築、の3点を主要政策とする協定に調印。共産の平岡大介・前札幌市議の立候補を取り下げ、立憲の松木氏を統一候補に決めた。

野党共闘を提案してきた「市民の風」共同代表の上田文雄・前札幌市長は「現政権に『ノー』という意思表示を突きつけるためには野党結集が必要だ。選挙に勝利し政治を変えよう」と呼びかけた。松木氏は「皆さんの期待に応えるため最大限の努力をする。平岡さんの分もがんばり、勝利という結果を出す」と話した。

2区補選には、日本維新の会が山崎泉氏、NHK受信料を支払わない方法を教える党が斉藤忠行氏の擁立をそれぞれ表明。他に、政治団体代表の小田々豊氏、無所属の弁護士長友隆典氏、無所属の元アナウンサー鶴羽佳子氏も立候補を表明している。（斎藤徹）

衆院北海道2区補選、立民と共産が候補一本化

読売新聞 2021/03/28 20:52

4月25日投開票の衆院北海道2区の補欠選挙を巡り、立憲民主党と共産党は28日、立民の松木謙公・前衆院議員に候補者を一本化することで合意した。共産は新人の公認候補予定者を取り下げる。

松木氏と立民道連、共産党道委員会、社民党道連、地元市民団体の5者が同日、政策協定に調印した。協定は「政治とカネの問題の徹底究明」や「新型コロナウイルスへの緊急対策」を盛り込んだ一方、原発や消費税などには触れなかった。

松木氏は「皆さんの気持ちに応えられるように、最大限の努力をしていく」と述べた。

「野党一本化」ギリギリで実現 候補乱立に危機感 衆院北海道2区補選

毎日新聞 2021/3/28 21:34(最終更新 3/28 22:20)



衆議院北海道2区補選で候補者の一本化が決まり、グータッチする松木謙公氏(前列右)と平岡大介氏(同左)＝札幌市中央区で2021年3月28日午後4時6分、源馬のぞみ撮影

吉川貴盛元農相の辞職に伴う衆議院2区補選(4月25日投開票)で、立憲民主党道連と共産党道委員会などは28日、候補者を立憲民主公認の松木謙公氏(62)に一本化することで合意した。投票日まで1カ月を切る中、野党共闘が実現したことで、複数の保守系候補と争う構図が固まった。

共闘合意に基づく政策協定は、政治とカネの問題の徹底究明▽格差是正と生活支援▽立憲主義・民主主義の回復とジェンダーの平等など誰もが尊重される社会の構築――の3本柱。両党で隔たりのある原発や消費税などへの明言は避けた。

札幌市内で28日開かれた協定の調印式で、立憲民主道連の逢坂誠二代表は「国会では捏造(ねつぞう)や隠蔽(いんぺい)が行われている。政策が違っても…

残り 589 文字 (全文 903 文字)

北海道2区補選、立民・松木氏統一候補で合意 共産は取り下げ

産経新聞 2021.3.28 17:28

4月の衆議院北海道2区補欠選挙をめぐり立憲民主、共産、社民3党の道組織の代表は28日、札幌市内で会合を開き、立憲民主党元職の松木謙公氏(62)を野党統一候補とすることで合意した。共産党は元市議、平岡大介氏(32)を擁立する準備を進めていたが取り下げた。

補選は、収賄罪で在宅起訴された吉川貴盛元農林水産相(自民離党)の議員辞職に伴うもので「政治とカネ問題」が焦点になる。松木氏は28日、3党の道内組織との政策協定に調印。協定には「政治とカネ問題の究明」などの文言が盛り込まれた。

補選には、いずれも新人の日本維新の会の山崎泉氏(47)、NHK受信料を支払わない方法を教える党の齊藤忠行氏(29)、元地元民放アナウンサーの鶴羽佳子氏(52)、弁護士の長友隆典氏(52)、政治団体代表の小田々豊氏(65)が既に出馬を表明している。

衆議院2区補選、松木氏一本化で正式合意 4者が政策協定 北海道新聞 03/29 01:20 更新

立憲民主党道連と共産党道委員会、社民党道連、市民団体「市民の風・北海道」は28日、4月25日投開票の衆議院2区(札幌市北区の一部、東区)補欠選挙で、立憲の松木謙公前衆議院議員(62)を統一候補とすることで正式に合意した。4者は新型コロナウイルス緊急対策などを求める政策協定を結び、共産は平岡大介党東区常任委員(32)の擁立を取り下げた。

4者の代表は札幌市内で開いた協定調印式に出席。協定は、政権交代の実現に向け《1》政治とカネの問題究明《2》新型コロナ緊急対策実施と格差是正《3》政治の流れを変え、憲法を守り、立憲主義・民主主義を回復する―の3点を明記した。残り: 291 文字/全文: 571 文字

衆議院北海道2区補欠選挙 立憲民主党と共産党 候補者一本化

NHK2021年3月28日放送



衆議院北海道2区補選

2021年3月29日(月)午後1時16分 更新

来月行われる衆議院北海道2区の補欠選挙で、立憲民主党と共産党は28日、政策協定に調印し、共産党が擁立を見送り立憲民主党の元衆議院議員の松木謙公氏に一本化することを正式に表明しました。

札幌市内で行われた調印式には、立憲民主党道連と共産党道委員会、それに社民党道連と、野党間の選挙協力を支援する市民団体から代表者が出席しました。

そして、▽「政治とカネ」の問題の徹底究明や、▽格差の是正と生活支援、それに▽憲法を守り多様性が生かされる社会を築くことなどを掲げた政策協定に調印し、衆議院北海道2区の補欠選挙で共産党が擁立を見送り立憲民主党の松木氏に一本化することを正式に表明しました。

衆議院北海道2区の補欠選挙ではこのほか、▽日本維新の会が元道議会議員の山崎泉氏、▽「NHK受信料を支払わない方法を教える党」が元社員の齊藤忠行氏を公認候補として決定しているほか、▽会社社長の小田々豊氏、▽元アナウンサーの鶴羽佳子氏、▽弁護士の長友隆典氏が立候補を表明しています。

このほか、▽元官僚の女性と、▽医師の男性も立候補を検討しています。

衆議院北海道2区の補欠選挙は、来月13日告示、25日投開票の日程で行われます。

衆院北海道2区補欠選挙 構図ほぼ固まる どうなる？選挙戦 NHK2021年3月29日放送



衆院北海道2区補選

2021年3月29日(月)午後7時02分 更新

来月行われる衆議院北海道2区の補欠選挙で、立憲民主党と共産党は28日、政策協定に調印し、共産党が擁立を見送り立憲民主党の元衆議院議員の松木謙公氏に一本化することを正式に決めました。

衆議院北海道2区の補欠選挙では、▽立憲民主党が元衆議院議員の松木謙公氏、▽日本維新の会が元道議会議員の山崎泉氏、▽「NHK受信料を支払わない方法を教える党」が元会社員の齊藤忠行氏を公認候補として決定しています。

このほか、▽会社社長の小田々豊氏、▽元アナウンサーの鶴羽佳子氏、▽弁護士の前友隆典氏が立候補を表明しています。

また、▽元官僚の女性と、▽医師の男性も立候補を検討しています。

野党間の選挙協力を目指す立憲民主党と共産党は一本化に向けた調整を進めた結果、28日政策協定に調印し、共産党が擁立を見送り立憲民主党の松木氏に一本化することを正式に決めました。

どうなる？“春の政治決戦”

焦点となっていた立憲民主党と共産党の一本化は、告示が2週間余りに迫っての決着となりました。

4年前の衆議院選挙では、北海道2区で当時の希望の党と共産党がそれぞれ候補者を擁立しました。

今回の調整でも、立憲民主党や支援団体の連合サイドには、共産党と距離を縮め過ぎれば支持層が割れかねないという警戒感がありました。一方の共産党側にも、前回相まみえる形となった相手を支えることへの抵抗感は否めませんでした。

こうした中で、政策協定をめぐる協議も一時、行き詰まりを見せました。

ただ、今回一本化できなければ、秋までに行われる衆議院選挙での各選挙区にわたる選挙協力にも影響を与えることとなります。

最終的には共産党の主張も踏まえ、格差の是正や憲法を守るといった点も盛り込んだ3点の「共闘合意」のもと、政権交代の実現に向け今回の選挙に勝利するという「大目標」を掲げる形で双方、歩み寄っての決着がなされました。

立憲民主党道連の逢坂誠二代表は「野党が1つになる必要がある。政策は違うところもあるが、この日本の民主主義の危機をなんとかしなければならぬ。日本の政治の危機をなんとかしなければこの国はつぶれてしまう」と話していました。

一方、共産党道連委員会の青山慶二委員長は「今度の選挙では、

野党共闘だけではなく政権交代をという大きな声が寄せられていた。市民の皆さんの声にこたえてこの野党共闘をさらに大きく発展させたい」と話していました。

野党側の一本化で、補欠選挙はどのような戦いになるのか。共産党の擁立見送りで、選挙戦は、▽立憲民主党、▽独自候補を擁立する日本維新の会、▽自民党に近い保守系の勢力などが争う構図がほぼ固まりました。

立憲民主党の候補者が党内の支持を固め、一本化を支える共産党などの支持層を着実にまとめられるか。

一方、自民党が擁立を見送る中、“奪い合い”となる保守層の支持を勝ち取るのはどの候補者か。

さらには無党派層にどこまで支持を広げられるかも勝敗を分けるポイントになります。

次の衆議院選挙をにらんだ“春の政治決戦”。有権者がどのような選択をするか、注目されます。

衆議院北海道2区の補欠選挙は、4月13日告示、25日投開票の日程で行われます。

国民民主党が道連を設立 補選は立憲民主党支援の考え

NHK03月29日 21時06分

去年の立憲民主党の結成に参加しなかった議員でつくる国民民主党は新たに北海道連を設立し、代表に就任した小林正夫参議院議員は、4月に行われる衆議院北海道2区の補欠選挙で、党が推薦を決定した立憲民主党の候補者を道連として支える考えを示しました。

去年の立憲民主党の結成で、合流前の立憲民主党と国民民主党に所属していた道内の国会議員や地方議員は立憲民主党に合流しましたが、結成に参加しなかった各地の国会議員らでつくる国民民主党は、今月、党の道内組織として新たに、北海道連を設立しました。

これを受けて、党道連は29日、札幌市内で記者会見を開き、オンラインで出席した代表の小林正夫参議院議員は「道独自の課題もあり、政治は生活と直結している。国政に議員を送り出し、役に立つ国民民主党でありたいという思いから道連を立ち上げた」と述べました。

そのうえで、4月に行われる衆議院北海道2区の補欠選挙で、党が推薦を決定した立憲民主党の候補者を道連として支える考えを示しました。

また、小林代表は、次の衆議院選挙で、比例代表の北海道ブロックに候補者を擁立し、議席獲得を目指す考えを示しました。

2021/3/22 18:24 (JST)3/22 18:41 (JST)updated 共同通信社

連合(神津里季生会長)は22日、4月の参院長野選挙区補欠選挙に立候補する立憲民主党の新人羽田次郎氏への推薦を維持すると確認した。ただ「具体的対応は構成組織に委ねる」とし、羽田氏を支援するかどうかは各労組の判断に任せる曖昧な決着となった。連合傘下の民間産業別労働組合(産別)の一部が、共産党などの県組織と羽田氏が結んだ政策協定を問題視し、混乱していた。

民間産別の UA ゼンセンや自動車総連などは、原発ゼロや日米同盟見直しを盛り込んだ政策協定に反発。連合執行部は19～22日の持ち回り中央執行委員会で主要労組の意向を尋ねていた。

国民、羽田氏推薦の是非協議 参院長野補選

時事通信 2021年03月24日16時54分

参院長野選挙区補欠選挙（4月25日投票）をめぐり、国民民主党は24日の両院議員総会で、立憲民主党新人の羽田次郎氏に対する推薦の是非を協議した。出席者からは、羽田氏が共産党などと結んだ政策協定の内容を問題視する意見が相次いだ。ただ、同日は結論を持ち越し、近く改めて総会を開き、対応を決めることとした。

参院県区補選 出馬予定3氏、松本で語る 公開討論会

信濃毎日新聞 2021/03/30 09:01

4月8日告示、25日投票の参院県区補欠選挙（欠員1）の立候補予定者による公開討論会が29日夜、松本市であった。松本地域の社会人や信州大の学生有志の実行委員会が企画。いずれも新人で、自民党の小松裕氏（59）、立憲民主党の羽田次郎氏（51）、政治団体「地域政党『信州義民の会』」の荒井久登氏（42）が、新型コロナウイルス禍で苦境が続く学生の支援策などを巡って考えを述べた。

学生の支援策を巡り、小松氏は、国の学生支援緊急給付金活用を呼び掛けた。オンライン授業は繰り返し受講できるなど「メリットもある」とし、情報通信基盤整備が重要とした。羽田氏は、新卒者の内定が取り消されないよう、中小企業の新入社員への給与を国が補助するなど「学生が学びを社会で生かせるようにしないといけない」。荒井氏は、保護者の所得格差が子どもの教育格差につながっていると指摘。「教育は機会均等が大原則。その手当てを公的な分野がすべき」と述べた。

コロナ対策で国の予算が膨らむ中、将来につけを回さない財政健全化について、小松氏はデジタル化などにより無駄な歳出を省く、羽田氏は所得税の累進性強化など税体系を変える、荒井氏は富裕層らに集中する個人資産の再分配を訴えた。

同性婚を容認する法律の法制化については、3氏とも「賛成」と明言した。他に外交政策や受動喫煙対策、防災対策などについても討論。実行委員で信州大経法学部2年の内田佑香さん（20）は「質問の多くは学生が問題に思っていること。真剣に考えて政策に反映してほしい」と話した。

参院県区補選を巡っては、3氏のほか、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人の神谷幸太郎氏（44）が立候補を表明している。

参院県区補選 事前審査2派出席 1派は調整中、1派は2日

信濃毎日新聞 2021/03/30 09:00

県選挙管理委員会は29日、4月8日告示、25日投票の日程で行われる参院県区補欠選挙（欠員1）の立候補予定者を

対象に、届け出書類の事前審査を県庁で始めた。立候補を予定する4派のうち、自民党新人で元衆院議員の小松裕氏（59）、立憲民主党新人で会社役員の羽田次郎氏（51）の2派が出席した。

各陣営が持ってきた届け出書類に、記載漏れなどがないか県選管職員が点検した。県選管によると、他の2派の事前審査は、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人で党職員の新谷幸太郎氏（44）の陣営が日程を調整中。政治団体「地域政党『信州義民の会』」新人で農業の荒井久登氏（42）の陣営は4月2日に受ける予定。

小松氏支持拡大 取り組みで結束 自民県連が選対会議

信濃毎日新聞 2021/03/29 09:00

4月8日告示、25日投票の参院県区補欠選挙（欠員1）に向け、自民党県連は28日、選挙対策会議を松本市で開いた。国会議員や県会議員、職域支部の代表者ら約50人が出席。自民公認で立候補を予定する新人で元衆院議員の医師小松裕氏（59）の支持拡大へ結束して取り組むことを確認した。

県連会長の後藤茂之氏（衆院4区）は、菅義偉首相の長男らによる総務省幹部接待問題などを念頭に「襟を正して政治を刷新していくことも与党の責任。その上で国民の命を守り、暮らしを支え抜くことが必要だ」とあいさつ。「これから2週間で射程内に収め、しっかり勝ち抜く戦いを進めたい」と訴えた。

会議では、後藤氏の他、衆院1～5区の支部長らが街頭活動や事業所訪問などの活動について報告。小松氏は終了後の取材に「大事なことは私が最後まで必死で戦う姿勢を見せ続けることだ。政治と医療をつなげる役割を託してほしいと訴える」と述べた。

しんぶん赤旗 2021年3月29日(月)

参院補選 羽田氏で政治変える 長野・佐久 市民・野党アピール



(写真)市民とともにアピールする（壇上左から）篠原、羽田、高村、中川の各氏＝27日、佐久市

来月8日告示

長野県佐久市で27日、4月8日告示（25日投票）の参院長野選挙区補選（欠員1）をたたかう立憲民主党新人の羽田次郎・野党統一候補と各野党代表を迎えた「市民・野党共同アピール」が行われ、沿道で「羽田次郎さんとともに佐久から政治を変える」とアピールしました。

「佐久地区市民と野党との共闘会議」の主催で、約150人が参加。野党代表として日本共産党の高村京子県議、立民の篠

原孝衆院議員、社会民主党の中川博司県議が出席しました。

市民代表の女性3人がスピーチ。新型コロナ対策で医療従事者へのPCR検査拡充、20人学級の実現などを羽田氏に要望しました。

羽田氏は、新型コロナに感染し死去した兄・雄一郎氏の志を継ぎ、市民と野党の議席を守る決意を表明。「『声なき声』を国政に届ける。勝ち抜いて、皆さまの代弁者として働かせてほしい」と訴えました。

高村氏は「命と暮らしを守る政治に。佐久から羽田さんを国会へ送り出そう」と呼びかけました。篠原氏は「総選挙で、一気に政権交代したい」と語りました。中川氏は「自民党では原発をなくすことはできない」と強調しました。

同共闘会議は、羽田氏の支持を広げるなど行動提起しました。

しんぶん赤旗 2021年3月16日(火)

羽田氏勝利で自公政権ノー 参院長野補選 来月8日告示 市民・3野党 合同宣伝



(写真) 羽田氏(中央)

の必勝を訴える(左端から)篠原、武田、(1人おいて)池田、杉尾の各氏＝14日、長野駅前

4月8日告示(25日投票)の参院長野選挙区補選を野党統一候補としてたたかう羽田次郎氏と県内3野党の代表と市民が14日、長野駅前の合同街頭宣伝を行い「羽田さん勝利で、政権交代ののろしを上げよう」と訴えました。日本共産党から武田良介参院議員が参加しました。

3野党とともに街宣を主催した北信市民連合の花岡邦明共同代表が「羽田さん当選で菅政権にノーを」と話しました。医療・介護現場で働く大矢美奈子氏が「私たちが安心して暮らせる社会に」と羽田氏に要望しました。

兄・雄一郎参院議員の後継として羽田氏は「地方分権、地域主権で国民の小さな声を聞く。兄の遺志を継ぐには、市民と野党の皆さんの力が必要です」と述べ、いっそうの支援を呼びかけました。

武田氏は「野党共闘で訴える政策は原発ゼロや所得の再分配強化など、市民の声と行動で多くの共通点ができた」と強調。「補選を通じ、長野から日本の政治を変える結果をつくろう」と語りました。

立憲民主党の篠原孝衆院議員は「自公政権を倒すため野党は一致団結し、羽田次郎さんを当選させる」と表明。同党の杉尾秀哉参院議員、社会民主党の池田清県議も政権交代への思いを述べました。

各弁士の訴えに、男子中学生のグループが耳を傾けていました。

2021年2月28日(日)

参院長野補選で政策協定 羽田氏と市民・野党が締結 消費税減税・核禁条約批准など盛る



(写真) 参院補選勝利

へ決意を固める(左2人目から右へ)中川、茅野、羽田、篠原、鮎沢の各氏と市民ら＝27日、長野市

立憲民主党・羽田雄一郎参院議員の死去に伴う参院長野選挙区補選(4月8日告示、25日投票)に向け、同党新人の羽田次郎氏と信州市民アクション、日本共産党、立憲民主党、社会民主党は27日、長野市で共同政策の協定書を締結しました。一同は羽田氏を野党統一候補とし、共闘の力で補選勝利、政権交代に力を尽くそうと誓い合いました。調印式は感染対策を取るなか鮎沢聡県委員長(共産)、篠原孝衆院議員(立民)、中川博司県議(社民)の各党県代表、茅野實氏ら信州市民アクションの共同代表が集結しました。

共同政策は▽新型コロナ収束へ国民の命、暮らし最優先の対策▽憲法9条改定反対▽新自由主義から転換し格差是正と貧困対策強化など7項目。このなかには「消費税5%へ軽減をめざす」「原発ゼロ社会めざし、再稼働は認めない」「核兵器禁止条約を直ちに批准する」なども盛り込んでいます。

羽田氏は、一昨年の参院選で兄・雄一郎氏を勝利へ押し上げた市民に敬意を表明。新型コロナ対策拡充などへの決意を述べ、「野党統一候補として兄の志を果たす。野党の議席を守り、政権交代に届くよう精いっぱい頑張る」と語りました。

各党・市民代表も羽田氏支援へ「新自由主義押しつけ、強権政治の菅自公政権を終わらせる」(鮎沢氏)、「野党の反転攻勢の出発点に」(篠原氏)、「命と健康を犠牲にする政治を変える」(中川氏)、「立憲野党の議席死守」(同アクションの又坂常人共同代表)と表明。立民の下条みつ衆院議員、杉尾秀哉参院議員もあいさつしました。

調印式の後、日本共産党と立憲民主党、羽田氏の間でも政策協定を結びました。同補選には、自民党元衆院議員の小松裕氏らが立候補を表明しています。

福山哲郎幹事長記者会見 2021年3月23日(火) から

立憲民主党 TAGS2021年3月23日

○参院長野補選について(1)

【西日本新聞・川口記者】

先日の長野補選の地元の政策協定の関連で伺いたい。連合が今週月曜日に、枝野代表から二度と繰り返すことはできないという言葉があったとして、推薦を改めて決定するとの談

話を出した。連合は、党と党が、共産党と直接政策協定を結んだことや、エネルギー政策などの内容に強い不快感を示していたが、今後衆院選本選で政策協定を共産党と結ぶ場合に立憲民主党はもう中央でしか結ばないということなのか、それとも選挙区ごとに結ぶ可能性もまだあるのか、ある場合はどのような対策をとって二度と繰り返さないということを徹底するのか伺いたい。

【幹事長】

二度と繰り返さないと代表が言葉で申し上げたというふうには、あの談話には書いていないはずですので、少し誤解をするような表現は控えていただければと思います。

今回の問題については、長野県連のほうでいろいろな形の政策協定を市民グループやそれぞれの政党と結んだことについて、党本部は、私が何度もここで申し上げているように、党本部としては拘束されないと。一方で、歴史的に言えば、羽田雄一郎さんや杉尾さんも含めて、そして羽田さんは(旧)国民民主党さんだったわけですから、当時の連合長野さんも含めて対応してきたことを踏襲した結果が、今回については多少政策協定の中身で我々の政策と相いれないものが幾つかあったということだと思います。

連合さんは中央で大変、羽田次郎さんの推薦をしっかりと皆でもう一度まとめていこうと、そしてこの選挙を勝とうと、一体で戦える態勢をつくっていただくために本当にご努力をいただいたと思っております。連合会長や事務局長にも心から私は感謝と敬意を申し上げたいと思います。枝野代表もそのこと、お互いがお互いの思いを通じ合う中でコミュニケーションを深めてやりましょうということについて連合会長とも話し合いをさせていただきながら、きのう連合としては組織として推薦を再確認いただいたということだと思っております。今の段階ではそれ以上でもそれ以下でもない。今後の先々の話について、今のところ、こういった連合さんに迷惑をかけるようなことは我々としてはしないように党としては対応していきたいと考えているということです。

【西日本新聞・川口記者】

連合さんのリリースで、枝野代表の言葉として、二度と繰り返すことはできないという言葉が紹介してあったと記憶しているが。

【幹事長】

ちょっと読んでいただくと、そこまでしゃべったというような表現ではないと思うので、ちょっと読んでいただければと思います。

【西日本新聞・川口記者】

事実関係としては、枝野代表が神津会長と会談された、面会された際に、二度と繰り返すことはできないという言葉が言われた事実はあるのか。

【幹事長】

そのことはお二人での会話なので、今ここで私が詳細を申し上げる必要はないと思います。

○参院長野補選について(2)

【信濃毎日新聞・実延記者】

長野補選の件で一点。羽田次郎氏が2月に結んだ政策協定について、党本部としては長野県連からの報告が事前になかったといったような話があったかと思うが、一方、地元の長野の連合関係者からは、党本部から長野県連をガバナンス不足もあるのではないかと指摘する声もある。党本部としての、現在この政策協定をめぐる一連の経緯の中で、責任の所在、責任については現時点でいかがお考えか。

【幹事長】

我々としては連合長野さんにも連合にもご迷惑をおかけしたと思っていますので、今回の対応について、党本部としていろいろ対応した結果として連合さんにも連合長野にもご理解をいただいたと考えております。

○参院長野補選について(3)

【フリーランス・堀田記者】

長野のことで伺いたい。告示になったら党本部から誰かが応援に行って共産党と一緒に並ぶということはあるのか。長野において例えば福山幹事長とか枝野さんの応援というのはある予定か。

【幹事長】

今のところ予定はありません。県連の対応や県連の要請を含めてまだ何もありませんので、今のところはありません。

【フリーランス・堀田記者】

国民民主党はまだ態度を明らかにしていないが、国民民主党に呼びかける予定はあるか。

【幹事長】

何をですか。

【フリーランス・堀田記者】

推薦してくれと。

【幹事長】

もう推薦は、今、決めていただいていると思います。

【フリーランス・堀田記者】

いや、まだです。

【幹事長】

決めていただいたものをどうするかという議論を国民民主党さんはされていると思いますので、もうお願いをし、推薦は一旦決めていただいております。

この間もこの会見で申し上げましたが、(旧)国民民主党の公認で戦われた、今はうちの党でいらっしゃいましたが、羽田雄一郎さんのある意味残念なご逝去の後の選挙ですし、羽田次郎さんは弟さんでいらっしゃいますので、連合さんも、連合長野さんも今回のことはご理解をいただいたので、推薦していただいて応援すると言っていたので、国民民主党さんにもぜひそこはご理解いただいて、推薦をいただいて一緒に戦っていただきたいと思っています。

【フリーランス・堀田記者】

まだ、あしたの両院議員総会、それから玉木さんの会見、榛

葉さんの会見までは決まらない。

【幹事長】

それは僕はわからないですが。

【フリーランス・堀田記者】

予断を許さないと思いますが。

【幹事長】

わかりました。

連合、羽田次郎氏の推薦維持 参院・長野補選、曖昧決着に 広島再選挙、宮口氏を推薦 社民

時事通信 2021年03月23日 18時14分

社民党は23日、参院広島選挙区再選挙（4月25日投票）に無所属で立候補する、新人でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）の推薦を決めたと発表した。既に立憲民主、国民民主両党も推薦を決めている。

参議院県区の補欠選挙・来月8日告示へ立候補手続きの事前 審査 長野

SBC信越放送 3/29(月) 15:26 配信



(写真：SBC 信越放送)

羽田雄一郎さんの死去に伴い来月行われる参議院長野県区の補欠選挙で、立候補手続きの事前審査がはじまりました。事前審査では立候補の届け出を行う際に必要な書類などをあらかじめ確認します。きょうは参院県区の補欠選挙に立候補を予定しているうち2つの陣営の関係者が出席し、県の選挙管理委員会の担当者から書類のチェックや説明を受けていました。参院県区の補欠選挙には、これまでに自民党・新人の小松裕さん、NHK受信料を支払わない方法を教える党・新人の神谷幸太郎さん、立憲民主党・新人の羽田次郎さん、諸派の新人・荒井久登さんが立候補を表明しています。参院県区の補欠選挙は、来月8日告示、25日投票の日程で行われます。最終更新:3/29(月) 21:37

長野補選、野党共闘に暗雲 立民新人が共産と協定 連合や 国民が反発

西日本新聞 3/30(火) 11:34 配信



立憲民主党の枝野幸男代表

4月25日投票の参院長野選挙区補欠選挙を巡り、立憲民主党が他の野党や最大の支持母体である連合との関係に苦慮している。立民が擁立する新人候補が共産党の地元組織などと結んだ政策協定に対し、連合と国民民主党が「共産色が強す

ぎる」と猛反発。次期衆院選の野党共闘にも余波が及びそうだ。

「われわれの政策と異なるものを協定として結び、それを了としていることが一番問題だ」。国民の榛葉賀津也幹事長は26日の記者会見で、参院長野補選に立民公認で立候補する新人の羽田次郎氏について、党推薦を取り消すかを近く決める考えを示した。問題視しているのは、羽田氏が2月末に立民、共産、社民の県組織や市民団体と結んだ政策協定。「2050年までに再生可能エネルギー100%を実現し、原発ゼロ社会をめざす」「日米同盟に頼る外交姿勢を是正」などとし、消費税5%への減税や核兵器禁止条約の即批准も掲げている。立民の枝野幸男代表は「長野県連の軽率な行動。党本部としてその内容に拘束されるものではない」として、3月17日に連合の神津里季生（こうづりきお）会長に陳謝した。連合は、羽田氏が旧民主党系の政治団体との間で別の政策協定を結び、枝野氏とも「二度と繰り返してはならない」との申し合わせができたとして、いったんは矛を収めた。しかし、連合傘下の民間産業別労働組合（産別）には、共産との協定が破棄されていないことへの不信と反発が大きい。国民には24日、自動車総連やUAゼンセン出身の参院議員3人が入党し、国民のある議員は「産別出身議員が加わったことで厳しい声が強まっている」と明かす。次期衆院選の足音も近づく中、野党共闘に漂う暗雲を払おうと、共産側は譲歩の姿勢を見せる。志位和夫委員長は、25日の会見で「個別の政策は違って当たり前で、一致点でやればいい」と表明。参院長野補選と同じ選挙日程の衆院北海道2区補選では、立民候補への一本化で合意したものの、政策協定に「原発ゼロ」や「消費税減税」を記載することは見送った。また、同日程の参院広島選挙区再選挙でも、立民が擁立する新人が市民団体と政策協定を結ぶ場に共産の県組織幹部が出席したことを「事実上の政策協定」（小池晃書記局長）と見なし、柔軟に対応した。（川口安子）

WEB特集 広島 再選挙の思惑は？ “仁義なき戦い”の末に NHK2021年3月25日 15時47分



おとしの参議院選挙で自民党が分裂して、広島県ではまさに「仁義なき戦い」が繰り広げられた。法の番人である法務大臣経験者が買収の罪に問われ、当選した妻も有罪が確定し当選が無効になり4月25日に参議院広島選挙区の選挙がやり直される。

政治への信頼をどう取り戻すのか。そして衆議院議員の任期満了まで残り半年となる中で、各党はこの再選挙にどう臨むのか。「仁義なき戦い」に続く戦いにかかるそれぞれの思惑を追った。

（川田浩気、五十嵐淳、佐々木良介）

短期決戦に号砲

「菅内閣初の国政選挙で保守地盤の広島で選挙をやって勝つことで、政権へのダメージを抑えられる。そのために案里を辞

職させる」

1月下旬。

東京から遠く離れた広島でも、政界関係者からこんなうわさがささやかれ始めた。

おととしの参議院選挙の広島選挙区で当選した河井案里は1月21日、東京地方裁判所から公職選挙法違反の買収の罪で有罪判決を受けていた。有罪が確定すれば当選は無効となるだけに、控訴するのかどうかに関心が集まっている時だった。



一方で今辞職すれば、4月に衆議院北海道2区と参議院長野選挙区の補欠選挙とあわせて、菅政権発足後初めてとなる国政選挙として選挙が実施されることになる。

北海道2区では、辞職した吉川元農林水産大臣が収賄の罪で在宅起訴され、自民党は候補者の擁立を見送り、事実上の不戦敗となっている。

うわさは、あながち嘘でもないだろうと感じた私たちはXデーに備え準備を始めた。数日後、勘は当たった。



2月3日午前「河井案里参議院議員が辞職の意向固める」

その日のうちに議員を辞職し控訴をしない考えを表明した。5日には有罪判決が確定し当選が無効となったことから、国政選挙では1994年の参議院愛知選挙区以来となる当選無効による「再選挙」が行われることとなった。

投票まで3か月足らず。決戦の号砲が鳴った。

クリーンな候補者を地元主導で

先に候補者擁立に動いたのは自民党だった。

おととしの選挙では党本部が主導して河井案里を公認候補として擁立した。県連が推した当時の現職、溝手顕正としれつな保守分裂選挙となった。



結果、夫で元法務大臣の克行が地元議員ら100人に総額2900万円余りを配ったとして立件され、案里が県議会議員4人に総額160万円を渡したとして有罪が確定するという、前代未聞の“巨額買収事件”に発展した。

2度と同じ轍は踏むまいと県連がこだわったのが「クリーンな人物」を「地元が主導する」形での擁立だった。

だが簡単にはいかなかった。

当初、有力視されたのは広島で名前が知れ渡っている大手企業の経営者だった。圧倒的な知名度があり、地元主導という大義名分も立つ。短期決戦にふさわしく県連でも反対する人はいなかった。

だが、条件があわず本人も固辞した。そこで白羽の矢が立ったのが、広島市出身の元経済産業省課長補佐の西田英範(39)だった。



西田は地元の小学校・中学校などに通い知人も多い。さらに被爆3世でもある。

県連の関係者は「広島に素地がある」と評した。

そして官僚として政策にも精通。人柄も真面目で誠実、何よりも政治経験がなく買収事件と無縁であることが決め手となった。

西田はしがらみのなさを強調し信頼回復への決意を示した。

「大規模な買収事件は、私も一国民としてあってはならないことだと思う。広島の政治に対する信頼を一刻も早く回復するためにまったくしがらみがなく、政治経験もない。まっさらな人間としてこの広島に飛び込んで、広島を一つにし、広島が前を向けるならこんな貴重な機会はないと思い立候補を決断した」

背水の陣を敷く岸田文雄

候補者選考をリードしたのは広島が地元で岸田派を率いる岸田文雄だ。



保守分裂となったおととしの参議院選挙で岸田は、県連とともに派閥の最高顧問を務めていた現職を支援した。しかし党本部が県連の反対を押し切って擁立した案里の後塵を押し、当選させることができなかった。

そして去年の総裁選挙で敗れてからは、党の要職や閣僚から外れて「無役」をかこっている。ことし行われる総裁選挙に立候補する意向をすでに表明しているが、地元の再選挙に敗れば求心力はさらに低下し、総裁選挙どころではなくなる。近く県連会長にも就任し、おととしのリベンジを果たすべく陣頭指揮にあたる。

言わば「背水の陣」となる。



「今回は私自身にとっても大切な選挙だ。多くの人々が広島の政治と、私の政治における『存在感』を深く結びつけている。広島の政治の出直しは私の政治家としての今後のありようにも大きく影響し、総裁選挙にも関わってくる。私自身、先頭に立つ覚悟でこの出直しの選挙にしっかり臨まなければならない」

尾を引く“買収事件”

岸田が目指す出直しができるかどうか。再選挙で、「政治とカネ」

の問題は避けられない。

河井夫妻の選挙違反事件では、自民党の県議会議員と広島市議会議員のおよそ 3 分の 1 にあたる 24 人が現金を受け取っていた。

西田が候補者に決まってから初めてとなる大規模な選挙対策会議が開かれた 2 月 28 日。広島市内のホテルにはおよそ 70 人の国会議員や地方議員らが集まった。



会場には、河井から現金を受け取っていた県議会議員の姿もあった。

こうした議員たちは再選挙でどのように活動していくのか。50 万円を受け取ったベテラン県議は苦しい胸のうちを明かした。

「選挙には関わらないようにはするつもりだが、私自身、自民党員でもあるので全く何もやらないわけにはいかず、みずからの後援会関係者に任せている」

別のベテラン県議も、やるせないような表情で控えめにこう話す。

「選挙戦で私自身は表に出られないが、大量の紹介カードや屋内用のポスターを配るようお願いされていて、党员としてやることはやる」

広島県議会では 3 月 12 日、現金を受け取っていた議員 13 人を調べる議会史上初の政治倫理審査会が開かれた。



条例にもとづいて、今後 13 人を聴取するなどして公正を疑われるような金品の受け渡しが無かったかどうか調べることになっている。

「政治とカネ」をめぐる広島の有権者の目は、日に日に厳しさを増している。

現金を受け取っていた議員にも協力を求めながら「クリーン」な選挙を展開する。

自民党は大きなジレンマを抱えている。

与党 足並みの乱れ「氷とけるのに時間が…」

「公明党との協力」も自民党の悩みの種になっている。

事件を受けて離党した克行に代わる衆議院広島 3 区の候補者として、自民党広島県連は県議会議員を支部長とすることを内定した。

しかし参議院選挙で案里を支援した公明党は、支持者から裏切られたという声が相次ぎ党副代表を擁立した。支持者をまとめるためにはみずから候補者を立てるしかないという判断だった。

これに自民党県連は反発する。あくまでも自民党の候補者と与党の統一候補として擁立するよう求めたが党本部での調整

の結果、公明党の候補者に一本化されることになった。



両党の地方組織の間の関係は著しく悪化した。一連の過程で自民党の県連会長らが辞意を表明するに至った。窓口が事実上不在となり、再選挙に向けた協議は遅々として進まなかった。このため公明党が西田の推薦を決めたのは、告示 3 週間前の 3 月 18 日になってからだった。

公明党広島県本部代表の田川寿一は、足並みは次第にそろうようになると強調する。



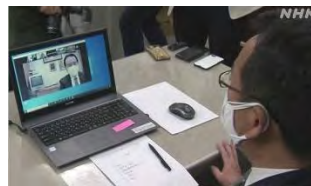
「正直なところ、ぎくしゃくはしていた。しかし、ここから先は一致団結してやろうという方向性だ。自民党はお金を受け取った議員もいて選挙中、動けないこともある。生やさしい選挙ではないのでわれわれ公明党がしっかり応援していきたい」自民党県連内には「公明党の力を借りなくても、自民党だけで勝てる」と反発する声が依然として出ている。

実際、西田の事務所開きには「コロナ禍で密を避けるため」として、公明党の議員が呼ばれることはなかった。公明党の地方組織のある幹部は「自公連立政権の存亡に関わるくらい重要な選挙なので一致団結して戦うが、氷がとけるのには少し時間がかかる」とつぶやいた。

“政治とカネ” 前面に

一方、野党第 1 党の立憲民主党は参議院広島選挙区での 2 議席独占を目指して、候補者を擁立する方針を早々に決めた。

「政治とカネ」の問題を訴え、保守地盤の広島でも勝利すれば菅政権に打撃を与えられると考えたからだ。与党の動きも見ながら、遅くとも 2 月中の決定を目指した。



短期決戦であることから、党本部が主導して知名度の高い人物を中心に人選を進め、複数の候補者から 3 人に絞り込んだ。この中で狙いを定めたのが、広島市の小中学校に通ったこともあり、広島にゆかりがある元検察官の郷原信郎だった。巨額買収事件について SNS で舌鋒鋭く糾弾していた。

「政治とカネ」の問題で世論を喚起するにはうってつけの人物だった。



しかし郷原から色よい返事が得られないまま時は過ぎていった。

郷原自身は3月4日、広島の有権者が「政治とカネ」の問題に関心を持っているのかどうか、自分が求められているのかどうかを直接確認したいと広島に足を運んだ。

記者団の取材に対しても「今回の再選挙に至る経緯や、その後の自民党側の候補者の擁立の動きに非常に憤りを覚えている」と述べたものの、立候補するかどうかについては踏み込まなかった。

そしてその5日後、郷原は結局立候補の見送りを表明した。河井夫妻から現金を受け取った側が何も処罰されず活動できる選挙では、公正な選挙が全く期待できないというのが理由だと説明した。

“大本命”に振られ戦略転換

2月中には候補者を決めたいとしていた立憲民主党は、その期日を延ばしてまで待った“大本命”に突然振られ、仕切り直しを余儀なくされた。

再選挙の告示は1か月後に迫っていることもあり、郷原とともに絞り込まれた2人のどちらにするかとなった。

幹事長の福山哲郎ら党幹部が東京都内で、平和や憲法問題に取り組む男性弁護士と、フリーアナウンサーの宮口治子(45)の2人と面談し、党幹部は宮口を高く評価した。



宮口は広島県福山市で3人の子どもの育ててきた。また外見ではわからない障害などがあることを知らせる「ヘルプマーク」の普及にも取り組んできた。

こうした人柄や活動ぶりは県連内でも評価された。

宮口は立候補にあたってこう決意を示した。

『シングルマザーであっても、子どもに障害があっても、こんな風に挑戦する女性がおるんじゃない、私も頑張らないけん』、そう思ってくれる人が1人でもいれば、今回、私が立候補した意味はあると思う。私は小さな声を届け、誰かのために役に立てるような政治家になりたい』

社会的に弱い立場の人たちの声を国政に届けることで政治を変えていく。それが政治に信頼を取り戻す広島の意思表示になる。

立憲民主党は、再選挙の戦略を転換した。

競合相手になるかもでも支援

宮口を立候補に導いたのは県連の代表代行で参議院議員の森本真治だ。



ただ森本は微妙な立場でもある。

今回の再選挙で勝利した場合、4年後の選挙でもとに議席をか

けて戦うことになるからだ。定員2の広島選挙区は長く与野党で議席を分けあってきており議席の独占はハードルが高い。それでも森本は全力で戦うという。



「今回は全国が注目し、国政全体に与える影響は極めて大きい選挙になる。相当ハードルは高いが2議席独占を果たし『政治の浄化』を成し遂げないといけない。4年後の私の選挙を心配する声もあるが政治の世界はあす何かあるかさえわからないし、今は政治を正す思いが強く全集中したい」

一枚岩になれるか

旧立憲民主党と旧国民民主党の合流を受けて、広島県では両党の組織が立憲民主党に一本化され、去年10月に県連が発足した。

とはいえ、今でも両者の意見の違いが顔を出す。

今回の候補者選考の過程では、旧国民民主党出身の森本が推す宮口と、旧立憲民主党の議員が推す弁護士で県連内の意見が割れた。

まずは立憲民主党の県連が一枚岩で戦う態勢を築けるかが問われることになる。

野党連携 衆院選の試金石に

立憲民主党は野党が幅広く協力して再選挙に臨めるよう、無所属で立候補させ推薦する形とした。与党に対峙する野党の固まりを作りたい考えた。

県内に地方組織がない国民民主党は地元の状況もかんがみ、擁立が決まるとすぐに推薦を決定した。

社民党も3月23日に推薦を決めた。

さらに、おととしの参議院選挙で候補者を擁立した共産党は今回、野党間での選挙協力を重視する考えた。

共産党広島県委員会委員長の村上昭二は、打倒自民と野党共闘を訴えた。



「前回は定員2を争う選挙だったが、今回の再選挙は定員1だ。しかも巨額買収事件を受けた選挙であり、自民党に勝たせるわけには絶対にかない。野党が力をあわせて候補者を一本化して勝利をすることが大事だ。選挙で自民党を倒し、野党共闘を前進させるこの2つを広島で実現させたい」

ただ旧国民民主党系を中心に、共産党とは考え方に隔たりがあるという思いが残っているのも事実だ。

野党連携が、どこまで深まるのか、そして、実効性ある協力体制が築けるのか。

次の衆議院選挙の試金石になりそうだ。

各党にも動き

日本維新の会とれいわ新選組は候補者の公募を実施するなど、擁立を模索している。

またNHK受信料を支払わない方法を教える党は、党の活動をアピールしたいとして党職員の山本貴平（46）の擁立を表明した。



山本は記者会見でこう述べた。

「いじめや生活困窮者の問題などいろいろあるが、今回はNHK問題をメインで訴える。私どもの政党は企業献金、個人献金を基本的に断っている。そこに関しては最もクリーンな政党だと思っており、裏切らない自信がある」

山本は街頭演説などの運動はしないとしていて、政見放送などを通じて主張を訴えていく方針だ。

このほか元広島県職員の佐藤周一（45）も無所属で立候補する意向を示している。

衆院選見据え 戦い本格化へ

4月8日の告示に向けて構図が固まってきた参議院広島選挙区の再選挙。

同日には衆議院北海道2区と参議院長野選挙区の補欠選挙も行われる。

10月21日の衆議院議員の任期満了まで残り半年。

再選挙を含めた3つの選挙の結果によっては菅総理大臣の政権運営や衆議院の解散・総選挙の判断に大きな影響を与えることも予想される。

衆議院選挙も見据え、各党の戦いはよいよこれから本格化する。

（文中敬称略）

しんぶん赤旗 2021年3月29日(月)

野党統一候補へ政策協定 宮口さんで金権選挙を払拭 参院広島選挙区



（写真）広島3市民連合の集会で訴える宮口氏

＝28日、広島市

2019年の参院選広島選挙区をめぐる大規模買収事件で有罪が確定した河井案里前参院議員＝自民党を離党＝の当選無効に伴う広島再選挙(4月8日告示、25日投票)に向け、県内の3市民連合は28日、広島市で「市民と野党の力で政治を変える！広島集会」を開き、同選挙区から立候補する無所属新人の宮口はるこ氏(45)と政策協定書を締結しました。

宮口氏と広島3区市民連合の山田延廣代表幹事(弁護士)が

政策協定書に調印。宮口氏を立憲野党の統一候補とする集会アピールを、市民130人の拍手で確認しました。

基本政策は、▽金権腐敗選挙の払拭(ふっしょく)▽新型コロナ対策の拡充▽日本政府への核兵器禁止条約参加の要求▽安保法制廃止一など六つです。

宮口氏は、コロナ禍でさらに弱者になった障害者、女性に光を当てるために立候補した決意を表明。金権腐敗選挙の払拭に向け「再選挙で県民に意思表示してもらわなければならない。一生懸命頑張ります」と訴えました。

山田氏は「市民目線に立った宮口さんは私たちが望む候補。私たちも全力を尽くして支え合っていこう」と呼びかけました。

日本共産党の村上昭二県委員長、立憲民主党の福知基弘県総支部連合会幹事長、社民党の佐藤奈保子県連合副代表があいさつ。「全力でほかの野党のみなさんと一緒に頑張りたい」(村上氏)、「みなさんの力で押し上げてほしい」(福知氏)、「平和都市広島の本当の意味の政治を取り戻したい」(佐藤氏)と表明しました。

参院再選挙 宮口予定候補と広島市の市民連合との政策協定

宮口氏と広島3市民連合(2区・3区・5区)との政策協定書は次の通りです。

◇

- 1、河井夫妻による大規模買収事件に代表される金権政治は民主主義を壊すものであり、政治不信を増幅させるものです。事件の全容解明を通して金権腐敗選挙を払拭することにより、公正・公平で、透明性のある政治と地方自治の確立を求めます。
 - 2、新型コロナウイルス対策として、医療・公衆衛生体制の抜本的な見直しと拡充を行い、社会経済活動の自粛や休業に対する補償について、十分な予算措置を講じることを求めます。
 - 3、核兵器廃絶をめざし、核兵器禁止条約参加を日本政府に求めます。
 - 4、中長期的に原子力エネルギーに対する依存度を低減し、最終的には原子力エネルギーに依存しない社会をめざすための政策を推進するよう求めます。再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマス(食用農作物を除く)等)はエネルギー自給率の向上や温室効果ガス排出量の削減の有効な手段であり、原子力エネルギーに代わるエネルギー源の柱とするべく導入拡大を進めていくことを求めます。
 - 5、平和憲法を擁護し、安保法制・共謀罪など立憲主義に反する諸法律を廃止することを求めます。一人ひとりの人間としての尊厳が守られ、基本的人権とりわけジェンダー平等が社会に定着していくことを求めます。
 - 6、「自助」と自己責任を優先させる社会から、市民のいのちと暮らしを最優先させ、「公助」を基本として、皆が支え合う社会にしていくことを求めます。貧困と格差の拡大を是正するため社会保障制度を充実させるよう求めます。農林水産業を保護育成し、地域経済の発展をはかるよう求めます。
- 双方は以上の基本政策の実現のため、選挙協力を進めます。

2021年3月28日

共産広島県委、フリーアナ宮口氏を支援 独自候補立てず【再選挙4・25参院広島】

中国新聞 2021/3/28 23:14



河井案里元参院議員の当選無効に伴う参院広島選挙区の再選挙（4月8日告示、25日投票）で、共産党広島県委員会は28日、候補者を出さず、無所属新人でフリーアナウンサーの宮口治子氏（45）＝立憲民主、国民民主、社民推薦＝を支援すると明らかにした。

衆院広島2、3、5区での野党勢力の共闘を支援している市民連合が広島市中区で開いた集会で、共産党県委員会の村上昭二委員長が宮口氏の支援を明言した。憲法の擁護や社会保障制度の充実など、宮口氏が市民連合と結んだ政策協定の内容を踏まえて判断し、党本部の了解も得たという。

再選挙にはほかに、自民党新人で元経済産業省官僚の西田英範氏（39）＝公明推薦、NHK受信料を支払わない方法を教える党新人で党職員の山本貴平氏（46）、無所属新人で元会社員の大山宏氏（72）、無所属新人で介護ヘルパーの佐藤周一氏（45）が立候補を表明している。

事実上の一騎打ちへ 野党、一本化で前回超えの態勢／与党は3区の禍根払拭を強調【再選挙4・25参院広島】

中国新聞社 2021/03/29 07:17



© 中国新聞社

参院広島選挙区の再選挙で、野党5党派が、候補者を無所属新人の宮口治子氏へ事実上、一本化した。野党系の無所属現職をトップ得票での再選に押し上げた2019年7月の参院選を超える支援態勢となる。再選挙を巡っては、与党は自民党新人の西田英範氏を公明党が推薦し、従来の国政選挙での協力態勢を維持する。西田氏と宮口氏を軸にした選挙戦の構図が固まった。

「宮口さんの勝利へ、共産党として、ほかの野党と一緒に全力で頑張りたい」。共産党広島県委員会の村上昭二委員長は28日、広島県内の衆院3小選挙区の野党共闘を支援する市民連合が広島市中区の広島弁護士会館で開いた集会で表明した。

再選挙では、宮口氏の擁立を主導した立憲民主党をはじめ、国民民主、社民両党と諸派の新社会党が宮口氏を推薦する。連合も推薦を決定。27日に中区であった宮口氏の街頭演説では、立憲民主党の福山哲郎幹事長、国民民主党の小林正夫参院議員会長、連合広島の久光博智会長がマイクを握り、全力支援

を宣言した。

ここまでは、改選2議席を争った19年7月の参院選広島選挙区でトップ当選した立憲民主党の森本真治氏（参院広島）を支えたのと同じ枠組みだ。再選を期す森本氏は当時の国民民主党公認から無所属に転じ、河井案里元参院議員たち自民党の候補者2人を抑えた。

この参院選では新人を党公認で立てた共産党。一転して再選挙では、党県委員会が当初から、野党共闘へ意欲をみせていた。再選挙は、2位で初当選しながら公選法違反罪で有罪となった河井氏の当選無効に伴い、1議席を巡る戦いとなるためだ。

▽立場の違い残る

そんな中、宮口氏と市民連合はこの日、「金権腐敗選挙」の払拭（ふっしょく）や、核兵器禁止条約への日本政府の参加を求める6項目の政策協定を調印した。共産党県委員会はこれを評価し、支援を表明する形となった。

ただ、共産党は自主的に支援を広げる形になりそうだ。宮口氏陣営の実動部隊となる連合が「反自民、非共産」の立場を取る事情が背景にあり、推薦も要請されていないためだ。市民連合の集会に出席した立憲民主党県連の福知基弘幹事長は「それぞれの立場で政治への信頼を取り戻すために頑張りたい」と語った。

19年7月の参院選広島選挙区得票は、森本氏が約33万票、共産党新人が約7万票。合計しても、自民党の2人の計約57万票には及ばない。推薦と自主支援で対応が割れる中、野党5党派がそれぞれの支援者を固められるのか、「政治とカネ」の問題などを追い風に無党派層などへ浸透できるのかが、勝敗の鍵となる。

▽「自公連携確か」

一方、自民党県連は27日に中区のホテルで開いた定期大会に、初めて公明党から斉藤鉄夫副代表（比例中国）を招いた。斉藤氏は「ここに至るまでみなさまに大変な心労を煩わせ、おわびする。党の全国の力を結集し、西田さんの当選へ頑張る」とあいさつした。

自民党と公明党は、年内にある衆院選広島3区の候補者調整で「与党代表」を公明党に決め、自民党県連に根強い不満を残した経緯がある。党県連会長に就いた岸田文雄前党政調会長（広島1区）は終了後、斉藤氏を招いた意図を「自公連携は確かなものだ」とあらためて明らかにするためだと説明した。

他の政党では、日本維新の会が候補者擁立の検討を続けている。れいわ新選組は擁立を断念した。

もっと見る

特集 選挙戦の構図固まる 候補者の動き 参院・広島 再選挙

中国放送 3/29(月) 19:08 配信

参議院・広島選挙区の再選挙の告示が、10日後に迫っています。選挙戦の構図がほぼ固まり、立候補予定者の動きも活発になっています。元経産省官僚の西田英範氏の擁立を早々

に決めた自民党。27日、岸田文雄前政調会長の互例会に西田氏の姿がありました。西田氏は、国会議員や党の支援者などから激励を受けました。「ぜひ、この大きな重要な選挙の責任を担ってもらいたい。わたしたちは強く思っています。西田さんなら担ってくれると信じて、みなさんをお願いをしていきたいと思っています。」(自民党 岸田文雄前政調会長)

「今、混乱している広島政界の中で、すくっと立って国政の場で仕事をできるようにする。それをしっかりとリードする。これをしていただくことをみなさんで確認する。」(広島市松井一実市長) この後の自民党県連大会でも党を挙げて西田氏をバックアップしていくことが確認されました。「たいへん厳しい選挙戦となっている。河井夫婦の事件を受けての選挙戦。今ごろ、罪を認めるくらいなら、もっと早く認めてほしかった。今ごろ、議員辞職をするなら、もっと早く議員辞職をしてほしかった。しかし、もう遅いわけでありませう。」(宮沢洋一参院議員)

連立を組む公明党からは...。「西田英範さんの当選に向けて、われわれも広島県だけでなく、また、全国のわが党の力を結集し、西田さんの当選に向けて全力でがんばる決意でございます。」(公明党 斉藤鉄夫副代表)

「買収事件のあった広島、広島から透明で公正な政治を目指し、信頼回復と未来に向けた改革、この広島がリードしていけるよう、みなさまと一緒に歩んでいきたいと思っております。」(西田英範氏)

自公の統一候補として、公明党の協力も得ながら挙党体制で臨む西田陣営。西田氏は、国会議員や地元議員とともに支援企業や団体をまわり、組織的な選挙活動を展開しています。◇ ◇ ◇ 一方、立憲民主党や、国民民主党などの推薦を得て、野党側の統一候補として戦う宮口治子氏の陣営も動きが活発化しています。広島市中心部での街頭演説には、推薦する党の幹部や支援団体が、応援に駆け付けました。「子育てのひとり親世代がどれだけ厳しいのか。障害を持ちながら子育てをしている家庭が今どういう状況に置かれているのか。全部、国会でぶつけていただく。」(立憲民主党 福山哲郎幹事長)

「今回の再選挙、政治とカネから決別し、広島から未来を変える選挙です。がんばろう。」(連合広島 久光博智会長) その後、場所を変えて、立憲民主党の推薦候補者として演説会を開きました。「もう一度、審判を、公正な審判を広島県民のみなさんに判断していただきたい。」(森本真治参議院議員) 28日は、福山市で事務所開きをして、あらためて一致団結して戦うことを確認しました。「短期集中、必勝めざし、最後の最後まで、ともにがんばろう。」(出席者たち) 午後には広島市に移動して、市民団体が主催する集会に参加。シングルマザーとして障害のある子どもを育てた経験を踏まえ、弱者に光を当てたいと訴えました。「誰が私の声を聞いてくれるのか。どこに頼ったらいいか。誰に話を聞いてもらったらいいか。そういうことで悩んできた当事者だからこそ、小さな声を届けていける代弁者にわたしがなりたい。人のために役に立てる、そんな政治家になっていきたい。」(宮口治子氏) ◇ ◇ ◇ れいわ新選組は、「再選挙は、静観ということになる見通

し」として、候補者の擁立を断念しました。◇ ◇ ◇ 戦いの構図が固まってきた参議院再選挙。そのほかに、ご覧の候補が立候補を表明しています。NHK・新山本貴平氏。無・新佐藤周一氏。無・新大山宏氏。無・新玉田憲勲氏。再選挙は、来月8日告示、25日が投開票です。

二階氏、広島県連の岸田新会長を激励 参院再選挙巡り

日経新聞 2021年3月29日 23:45



自民党広島県連の定期大会で、あいさつする岸田文雄前政調会長=27日午後、広島市
自民党の二階俊博幹事長は29日、党本部で岸田文雄前政調会長と会った。岸田氏は27日に党広島県連の会長に就いたと報告した。二階氏は4月の参院広島選挙区再選挙について「なかなか大変な選挙だが頑張してほしい」と激励した。岸田氏が面会后、記者団に明らかにした。再選挙は公職選挙法違反で有罪判決が確定した河井案里前参院議員の当選無効に伴い実施される。

Business Journal 2021.03.29 20:00

自民党、「自民王国」広島で歴史的敗北の気配…菅政権、初の国政選挙“全敗”なら致命的

文=編集部

菅政権で初めての国政選挙が4月25日に行われる。衆院北海道2区の補欠選挙、参院長野選挙区の補欠選挙、参院広島選挙区の再選挙の3つだ。下馬評では、自民党の1勝(広島)、1敗(長野)、1不戦敗(北海道)とされる。過去に野党の2倍の票を出してきた広島は「勝って当たり前」なのだが、現実にはそう甘くはない。

広島再選挙の結果は、9月の自民党総裁選に意欲を燃やす岸田文雄前政調会長(衆院広島1区選出)の今後にも大きく影響しそうだ。

「混乱が続く県連の出直しだ。その先頭に立つ」

河井案里氏の当選無効に伴う再選挙を前に、岸田氏は3月27日、自民党広島県連の新会長に就任した。広島県は岸田派所属の議員が多く、同派の牙城。岸田氏がこのタイミングで3度目の県連会長を引き受けたことに、今度の再選挙勝利に向けた並々ならぬ決意と危機感が見て取れる。

衆院の7選挙区のうち6つを自民党が占める広島は、まさに「保守王国」。問題となった2019年の参院選で改選2議席の独占を狙ったほどだから、1人を選ぶ今度の再選挙は本来なら楽勝のはず。ところがそこに、河井克行前法相と案里夫妻の公職選挙法違反事件が影を落とす。選挙の実働部隊となって票を掘り起こすべき地方議員が、今回は動けないのだ。県連所属の県議と広島市議で現金を受け取ったとされる人が、

実に24人に上る。手足をもがれたかたちで自民党流の組織選挙を展開するのは容易ではない。

「河井事件でただでさえ自民党のイメージは悪くなっている。県議や市議が表に出たら、さらに印象を悪化させるだけです。

『政治とカネ』の問題で再選挙になっているのに、県連が選挙費用を配るわけにもいきません。仕方ないので、まずは広島選出の国会議員8人が中心になって動いています。3月上旬からは地元以外の岸田派国会議員の秘書団も応援に入りました。岸田派は独自の選対本部を設置しています」（自民党関係者）

3月17日には自民党本部で二階俊博幹事長ら執行部が協議し、比例選出の参院議員を中心に企業や団体への訪問を重ねることも申し合わせた。秘書団や比例議員が大挙して広島に入ったとしても、地方議員とは地元との密接度に雲泥の差がある。

「従来の自民党票の7掛けぐらいしか獲得できないのではないかな。苦しい選挙になるだろう」（同）

次期自民党総裁選、河野太郎氏や西村康稔氏のほうが「ポスト菅」としての認知度が上がっている

広島で自民党候補が敗れることになったら、岸田氏の総裁選出馬の目も潰れかねない。というのも、ただでさえ岸田氏への党内の期待感は低い。3月21日に行われた自民党大会の後、岸田氏は次期総裁選について「チャンスがあれば挑戦したい」と改めて意欲を示したものの、岸田派以外に岸田氏を推す声はない。むしろ、菅内閣の閣僚として露出度の高い、ワクチン担当の河野太郎行革担当相や新型コロナ担当の西村康稔経済再生担当相のほうが、「ポスト菅」としての認知度が上がっている。

「菅首相は前々から岸田氏のことをあまり好きではない。次の総裁選に自身が出ない場合でも、岸田氏は絶対にノーだろう。自分の再選か、それがなければ、後継に想定している河野氏を推すだろう」（自民党ベテラン議員）

岸田氏の頼みの綱は、細田派に影響力のある安倍晋三前首相と麻生派の領袖・麻生太郎財務相だ。

「確かに、安倍氏と麻生氏の2人は『ポスト菅』で岸田氏を候補に入れている。前回は安倍氏の意中の候補は岸田氏だったのに、これといった成果が出せず、岸田氏では石破茂氏に負けてしまうだろうと、土壇場になって岸田氏を諦め、菅氏に乗り換えた。岸田氏が地元の選挙で負ける失態を犯せば、同じことになりうる」（同）

広島での再選挙は絶対に落とせない。岸田氏は正念場だ。

（文＝編集部）